

小中英語教育コース

(2024年4月開設予定)

Information

こども教育学部の総合型入試では、小学校「先生」実演方式と幼児教育内容実践方式のいずれかの方式を選択できます。

小学校「先生」実演方式

小学校の先生が教室で子どもたちに教える場面をイメージし、なりたい「先生」像を表現する試験です。

募集人員*

15名

出願資格 下記①～③のすべての条件を満たす者(年齢不問)

- ① 下記ア～ウのいずれかの項目に該当する者
 ア. 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者および2024年3月卒業見込みの者
 イ. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および2024年3月修了見込みの者
 ウ. 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および2024年3月31日までにこれに該当する見込みの者
※個別の入学資格審査により出願を希望する場合は、出願期日の1ヶ月前までにアドミッションオフィスまでお問い合わせください。
- ② 合格した場合、本学への入学を確約できる者(専願)
- ③ 入学後は、こども教育学部 小中英語教育コースの履修を希望する者

*こども教育学部 総合型入学試験の募集定員(小学校「先生」実演方式、幼児教育内容実践方式の合計)

入試スケジュール

出願 受付期間

9/1(金)～9/7(木) 消印有効
9/8(金)9:00～17:00のみ本学持込可

必要なのはコレ!

- エントリーシート*
- 取得資格申出書*(対象者のみ)
- 調査書

※本学Webサイトよりダウンロードできます。

試験 1日目

9/17(日)

準備期間
(約2週間)

試験 2日目

10/1(日)

合格 発表日

10/7(土)

グループ面談、小学校「先生」実演、個人面接(準備記録を含む)、レポート、エントリーシート、調査書、取得資格・検定・スコア等によって総合的に判定します。

入試の流れ

受験者の多様な資質・能力を多面的・総合的に評価します。理想の「先生」像について深く考え、小学校「先生」実演や面接などで具体的に表現してください。試験1日目・2日目の内容だけでなく、準備期間での取り組みや、その中での気づきや成長の過程も重視します。

試験1日目

グループ面談 (30分程度)

エントリーシート*に基づき、どんな先生になりたいのか、試験2日目の小学校「先生」実演でどのように英語を教えたいのか、想定する学年や考えている実演の内容を面談で伝えてください。受験生同士の意見交流を行い、教員も必要に応じてアドバイスします。グループ面談終了後、試験2日目の**小学校「先生」実演の課題を確認**します。また、試験手順および**「準備記録用紙」**について説明します。

※本学所定のエントリーシート(本学Webサイトよりダウンロード可能)に、志望動機や小学校「先生」実演で行う内容(予定)等を記入し、出願手続時に提出。

1日目終了後～

準備期間

●小学校「先生」実演の準備

試験1日目終了後から試験2日目までの約2週間で、小学校「先生」実演の準備を各自で進めます。

●「準備記録用紙」の作成

準備計画や実際に取り組んだ内容、練習のなかでの成長や改善点などを「準備記録」として各自でまとめます。分量は自由です。自分の努力の足跡が見える工夫をしてください。「準備記録用紙」は試験2日目に提出してください。

小学校「先生」実演のイメージ

小学校の教室で、英語を教える場面を実演し、なりたい「先生」を表現する。



※危険が伴うもの、教室で実演できないものは避けてください。
※実演内容は1日目のグループ面談の中で確認できます。(内容によっては変更を求められることもあります。)

試験2日目 ③

レポート作成 (1,200字・60分間)

小学校「先生」実演をしてみて感じたこと、準備段階からの振り返り、面談などでの気づきや発見、入学後の目標などを1,200字にまとめてください。

試験2日目 ②

個人面接 (15分程度)

小学校「先生」実演の振り返りや、教師になることの抱負などについて、個人面接でお聞きします。どのようなステップで試験2日目を迎えたのか、「準備記録用紙」の内容も踏まえながら、その努力の足跡などもお聞きします。

試験2日目 ①

小学校「先生」実演 (10分間)

小学校の英語の授業で、こんな風にこどもに教えたいな、こんなことを伝えたいなと考えていることを小学校「先生」実演で表現してください。試験1日目のグループ面談と約2週間の準備の成果を存分に発揮してください。

🔍 小学校「先生」実演の評価の視点

こんな先生だったらいいと思う「先生」を表現する方法として、準備教材の内容や工夫の仕方、言葉の使い方、話す速度、間の取り方、全体の構成、発表内容が説得力のあるものになっているかなど、多様な観点で評価します。

